



早宮小だより

令和3年3月5日
練馬区立早宮小学校
臨時号

健康で明るい子ども よく考えて工夫する子ども 思いやりのある子ども

☎ 03(3993)5165 FAX 03(5984)0934

ホームページ URL : http://www.hayamiya-e.nerima-ky.ed.jp/mobile_site/mobile_site_top.html



カメラ付き
携帯電話用
QRコード

令和2年度 学校評価

校長 須藤 田鶴子

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。令和2年度の学校評価の結果をお伝えいたします。皆様からいただいた評価は、次年度の教育活動に生かして参ります。

1 対象者・評価の回収率

本校児童 98.4% (478人/486人)、保護者 84.4% (410人 /486人)、教職員 100% (21人 / 21人)

2 自己評価及び学校関係者評価結果・考察

【今年度の学校教育目標】

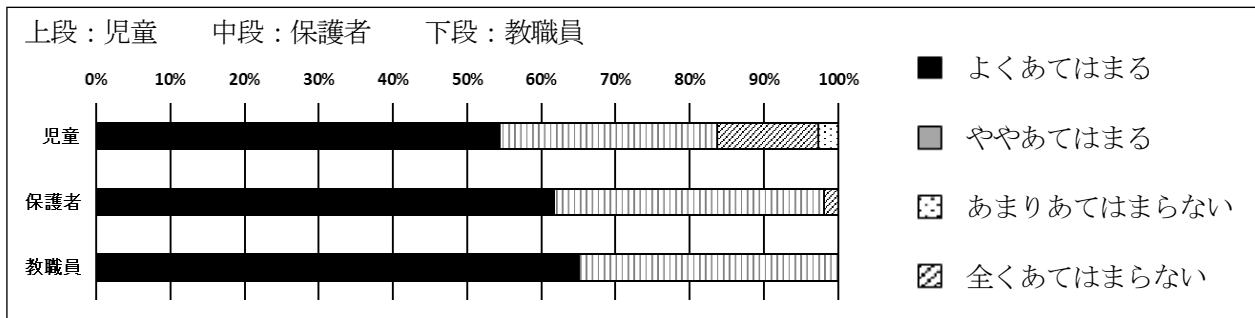
人権尊重の精神を基盤として、心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指し、広く国際社会や地域社会の信頼と尊敬が得られる人間性豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を設定する。

◎思いやりのある子ども (今年度の重点目標) ○健康で明るい子ども ○よく考え工夫する子ども

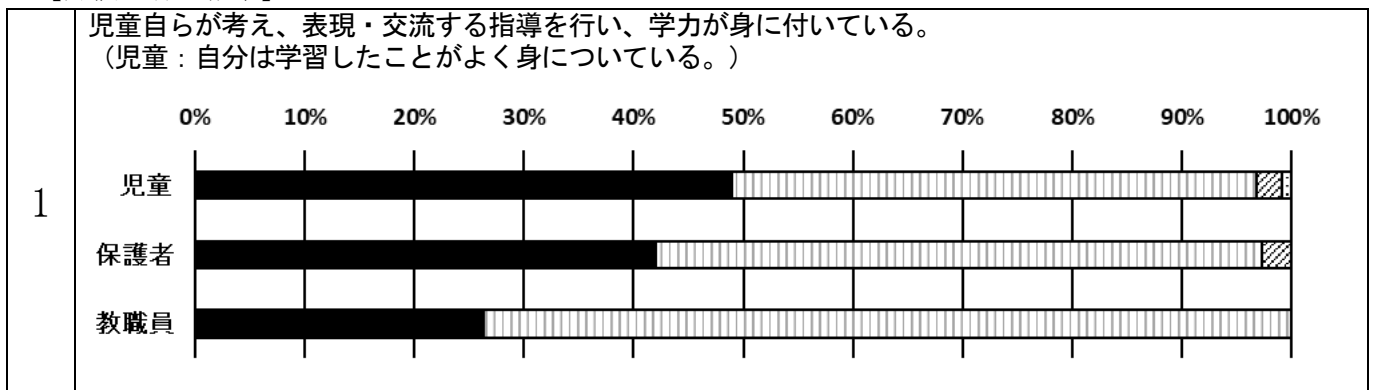
【上記を受けて目指す学校像】

- (1) 子供が学ぶ楽しさや達成感を味わうことができる学校
- (2) 健やかな心と体を育てる学校
- (3) 地域に開き、保護者・地域に信頼される学校

【グラフの見方】

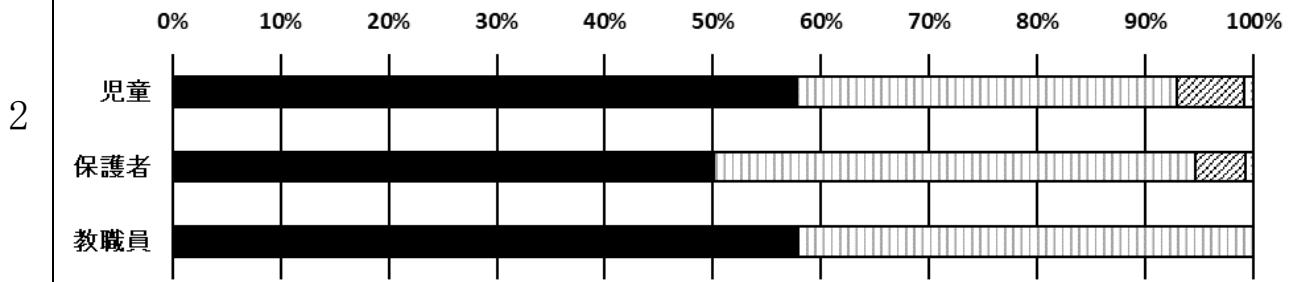


【評価内容と結果】



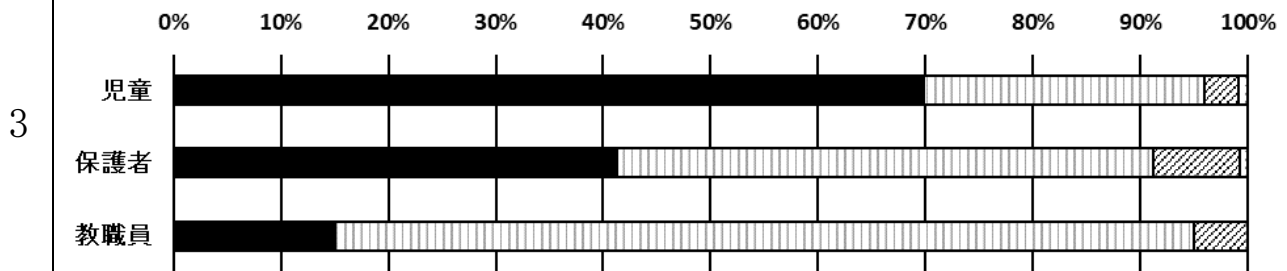
今年度は学習活動に制限がありましたが、児童の約95%以上が学習したことが身に付いていると感じています。保護者の皆様も同様の評価となっています。今年度配備されたタブレット端末などのICT機器も活用しながら、今後も、児童自らが主体的に学びに取り組み、考えを共有する学習活動を工夫していきます。

算数習熟度別指導や学力補充教室、サマースクールなど個に応じた指導が充実している。
 (児童：自分は、算数の学習がよくわかっている。)



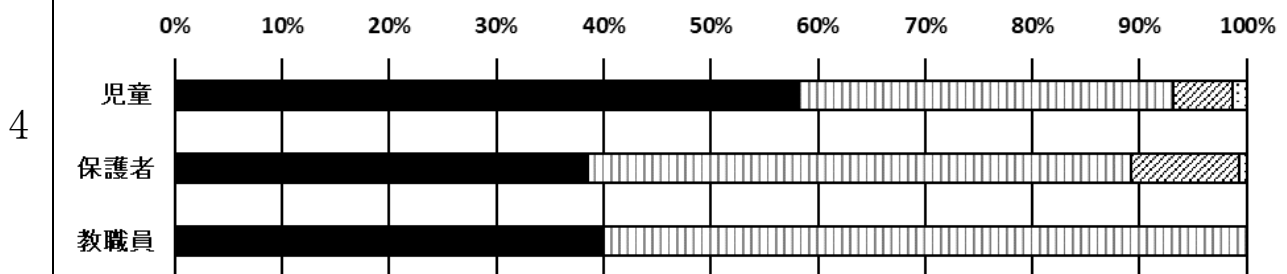
評価としてはおおむね良好です。東京ベーシックドリルの調査結果からも、算数の学力の定着が分かりました。しかし、どの学年においても学力の差が見られ、個に応じた指導の必要性があります。算数習熟度別指導の充実とともに、放課後には学力補充教室や地域未来塾を継続していきますので、お子さんをぜひ参加させてください。

学習中の返事や挨拶、話の聞き方と話し方、家庭学習、用具の準備などが身に付いている。
 (児童：自分は学習のきまりを守り、家庭学習(宿題)にも取り組んでいる。)



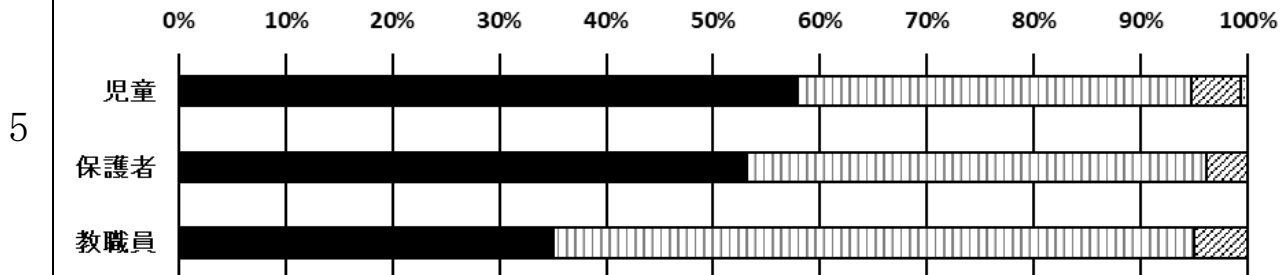
約70%の児童は、学習規律や家庭学習などが身に付いていると感じ、全体としても、おおむね良い評価となっています。しかし、学習の準備や家庭学習ができなかったり姿勢の悪さが目立ったりする一部の児童も見られます。保護者から「基本的な学習習慣は、家庭での取組も重要である。」というご意見もいただきました。今後も、ご家庭のご協力をお願いいたします。

国語科「書くこと」の力が身に付いている。
 (児童：自分は「書くこと」の力がみについていると思う。)

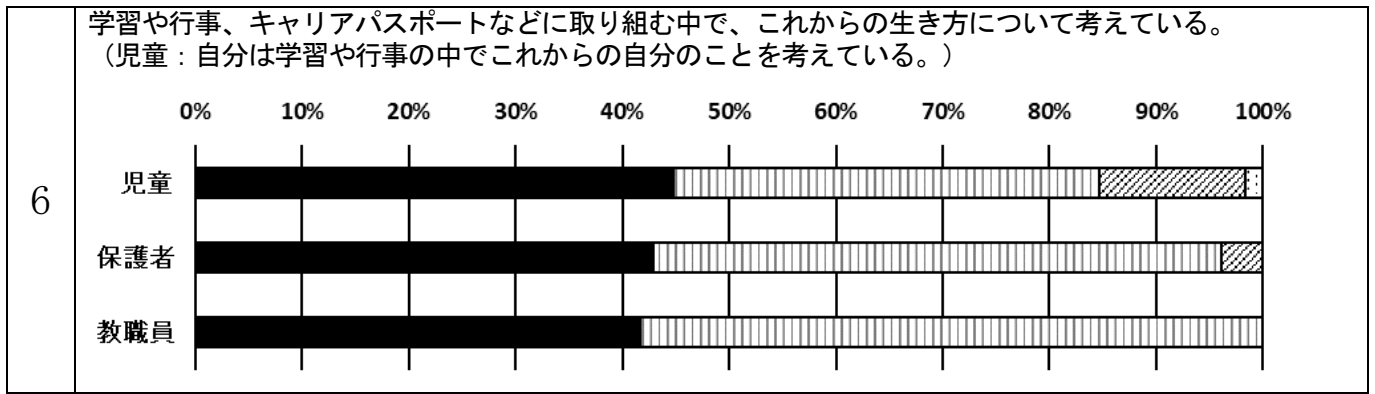


昨年度よりも、書く力が身に付いているという評価が、児童・保護者の皆様ともに上がり、教員も手応えを感じています。しかし、「まだ書く力は不足している。」という保護者のご意見もありました。朝の作文指導では、担任だけでなく専科教員も指導に入り全校で取り組んでいます。お子さんが書いたものを持ち帰ったときは、伸びたところを認める言葉を伝えてください。

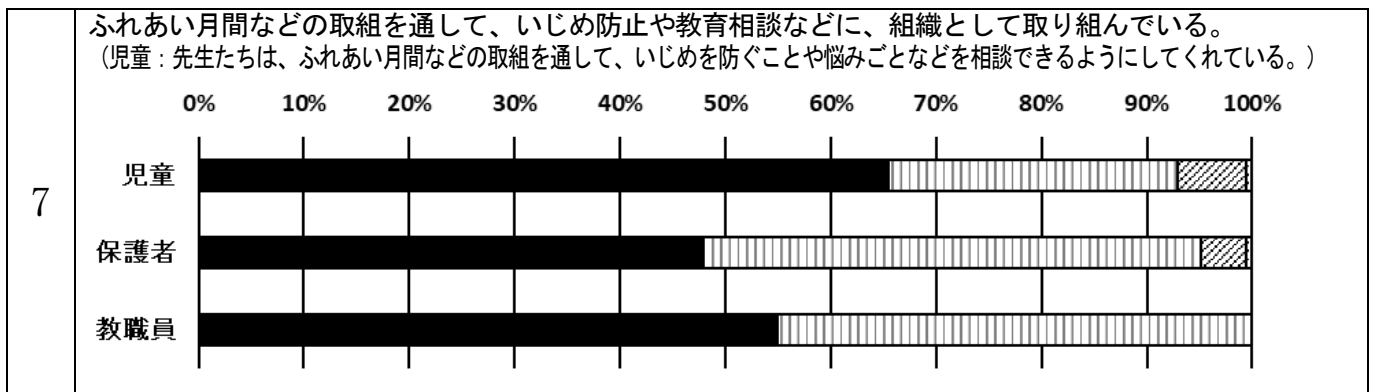
挨拶や返事など基本的な生活習慣が身に付き、思いやりの心が育っている。
 (児童：自分は、挨拶や返事をきちんとし、相手の立場に立って行動している。)



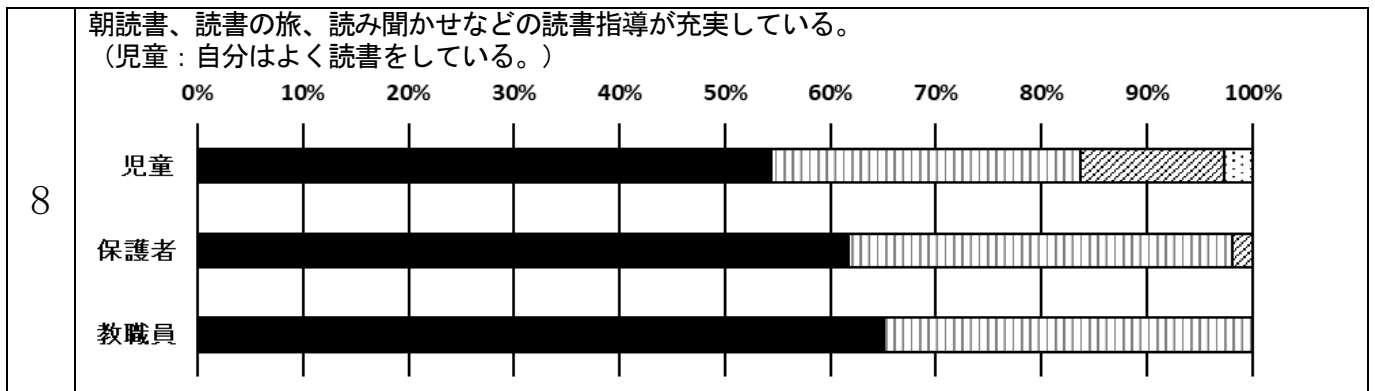
児童・保護者の皆様ともに、95%以上が基本的な生活習慣が身に付いていると評価しています。「あいさつ運動」に取り組むことで、挨拶を交わすよさを感じている児童も多くなります。今後も「早宮の子のやくそく」の共通理解と指導の徹底を継続し、「こまめに手洗いをする。」「食事中は会話を控える。」などの新しい生活様式についても、練馬区の感染予防のガイドラインに基づいて指導していきます。



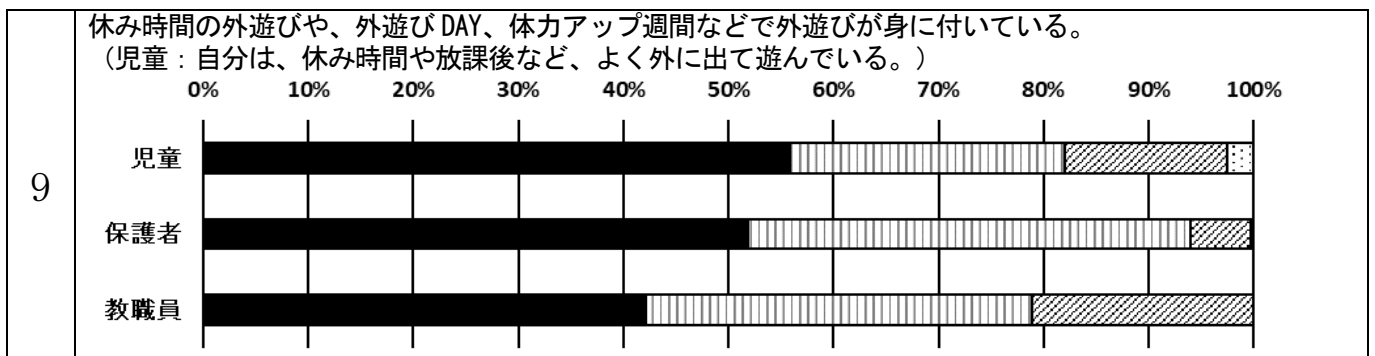
80%以上の児童が、学習や行事を通してこれからの自分のことを考えていますが、約15%の児童は「あまり考えていない・全く考えていない」という評価となりました。今年度は行事が縮小または中止となり、教育活動が予定どおりにできませんでした。これからの学習や生活に生かしていけるよう、キャリア・パスポートを有効的に活用していきます。保護者の皆様には、キャリア・パスポートへコメントを記入をしていただき、感謝申し上げます。



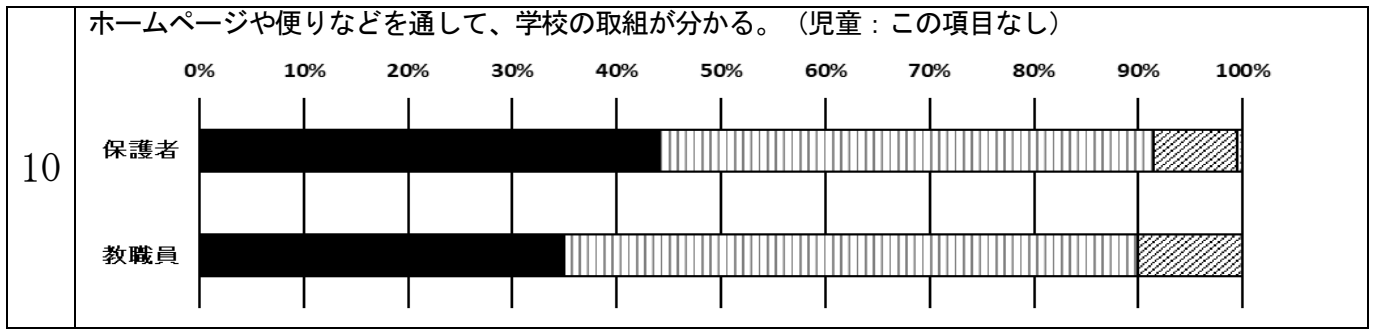
児童の「よくあてはまる・ややあてはまる」の評価が90%を超え、悩みを相談できる体制が整っていると思われます。今後も担任だけでなく、養護教諭や心のふれあい相談員、スクールカウンセラーと連携し、校内での相談体制の一層の強化を図るとともに、ふれあい月間でのアンケートの活用など、いじめの未然防止・早期発見、解決に努めます。



心の育成でもある読書活動は、全教育活動の基礎となるため、引き続き重点的に取り組んでいきます。朝読書や読書の旅など多様な読書活動も継続していきます。今年度は学校図書館の活用も制限があり、児童が自由に利用できませんでした。今後は練馬区の感染予防のガイドラインに則って、図書館管理員やボランティアによる読書活動を再開していきます。ご家庭でも、読書の時間を設けていただくようお願いいたします。



80%以上の児童はよく外に出て遊んでいますが、今年度は外遊びが制限されたために、約18%の児童が「あまり・全く当てはまらない」の評価となりました。持久走や短縄跳びは、体育の学習を中心に継続して取り組みましたが、身体接触をとまなう学習活動ができない期間もありました。今後は区の感染予防のガイドラインに基づき、工夫をして体力向上に向けた取組を実施していきます。



今年度は臨時休業期間中に、学校ホームページや学校連絡メールを活用し情報提供いたしました。今後は、タブレット端末の活用も考えています。学校ホームページは、子供たちの活動の様子をお伝えするよう、定期的な更新に努めています。学年・学級便りでは、学習の予定や持ち物などをお知らせしていますので、ご家庭での確認をお願いいたします。

※たてわり班活動や外部講師などによる体験活動、学年に応じた異校種との連携についての評価は、「練馬区立学校のこれからの生活について」に基づき、異学年・異校種の活動が制限されたため、評価は実施いたしませんでした。次年度は、練馬区の感染予防のガイドラインに基づき、ICT機器を活用するなど工夫して異学年・異校種交流に取り組み、主体性や思いやりの心を育むとともに、児童相互の豊かな人間関係を築いていきます。

3 次年度に向けて取組の方向性

＜子供が主体的に学び、楽しさや達成感を味わうことのできる学校＞

(1)計画に基づいた指導

学習指導要領の3つの柱である「知識・技能の定着」「思考力・判断力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」を根幹とした年間指導計画に基づく計画的な指導を実施していきます。

タブレット端末や電子黒板などICT機器を活用し、プログラミング教育を充実させていきます。

外国語科は、令和3年度より外国語担当講師が配置され、ALTと連携して学習内容の充実を図ります。

(2)基礎的・基本的な学習内容の定着

国語科の「書くこと」を校内研究で継続して取り組み、豊かな表現力や思考力の育成に努めます。また、学習の目的や手順を示して学習の見通しをもたせた上で、すすんで考え、表現・共有する学習の展開を目指します。全ての学習の基礎となる読書活動を区の感染予防のガイドラインに基づきながら推進していきます。また、地域未来塾や放課後教室の充実を図り、学習の基礎・基本を確実に定着させていきます。家庭と連携し、家庭学習の習慣化を進めます。

(3)学習習慣の確立

校内で「早宮の子の約束（学習編）」の共通理解を図り、学習中の挨拶や返事、話の聞き方や話し方、学習用具の準備などを学校全体で定期的に確認し、規律ある学習習慣の確立に努めます。

＜健やかな心と体を育てる学校＞

(1)心の教育の推進

「あいさつ運動」を推進し、日常の挨拶や返事、場に応じた話し方が発達段階に応じて適切にできるようにしていきます。道徳科教育の推進や「早宮の子のやくそく（生活編）」の徹底を通し、相手の立場を理解し、思いやりの心をもってすすんで行動する児童の育成に努めます。

「心のふれあい週間」の活用やいじめアンケートの定期実施などを通し、いじめや不登校の兆候を見逃さず、組織として未然防止、早期解決を図ります。心のふれあい相談員、スクールカウンセラーなどとも連携し、相談体制の一層の強化を図り、子供たちの心の安定に努めます。

(2)体験活動の充実

児童相互の豊かな人間関係を築くために、縦割り班活動やロング集会など異学年交流や異校種との取組を練馬区の感染予防のガイドラインに基づきながら、ICT機器を活用して計画的に実施します。地域の特性を生かした体験活動や地域の人材や外部講師を招いての活動の機会を通して、生きて働く学力が身に付き、自らの学びを深めていくことができるような学習の展開を図ります。また、キャリア・パスポートを活用し、将来の生き方について考える力を養います。

(3)体力の向上

区の感染予防のガイドラインに基づきながら、体育の学習や休み時間で持久走や短縄跳びに引き続き取り組み、児童の体力の向上に努めます。新体力テストの結果を分析し実態を把握する。新体力テストの結果は、学校だよりやホームページで保護者や地域に示します。また、オリンピック・パラリンピック教育の推進や外遊びの奨励を通して運動に興味・関心をもち、自ら運動に親しむ態度を育てます。

＜地域に開き、保護者・地域に信頼される学校＞

保護者の会や練馬区青少年育成第二地区委員会、早宮三・四丁目町会、仲五町会、早宮一丁目自治会を始め、各町会の皆様、早宮スクールガード、避難拠点連絡会との連携・協力をさらに深め、地域人材や地域の自然、文化、施設などを生かした学習・教育活動を展開していくとともに、学校、保護者、地域で一体となった児童の安全確保に努めます。また、開進第一中学校や、開進第一小学校、近隣の幼稚園、保育園との連携にも取り組んでいきます。